

■業種確認

- ・記入例をご確認のうえ記載ください。
- ・対象とする指定業種を確認してからご記入ください。
- ・事業実態と記載の業種が異なる場合、融資が受けられないことがあります。

対象とする指定業種名 (ア)	具体的な事業内容(イ)

金融機関とりまとめ申請時は必須入力	
細分類番号(ウ)	指定業種名(エ)

※日本標準産業分類の指定業種名、分類番号と必ず一致させてください。

■売上高計算書

- 注1：記入内容の挙証資料（試算表、法人概況説明書、売上台帳等）を添付してください。
- 注2：（E）、（F）、（G）がちょうど5.0%になった場合は、千円単位ではなく1円単位で記入（入力）して再計算してください。
- 注3：挙証資料の一部が税抜き（または税込み）の場合は、売上高計算書への記入は、消費税の処理を統一して、1円単位で記入してください。なお、1円単位で記入する際に、千円単位で作成されている法人概況説明書の月別売上額を転記する場合は、千円未満の額に「,000円」を足してください。

挙証資料の不足・不備や計算方法に誤りがあると認められるときは、審査せずにお返しすることがあります。

この様式のA～Gは申請書のそれぞれの欄に対応しています。

（千円未満切り捨て）

最近3か月間の指定業種の売上高（実績）

最近	年	月	年	月	年	月	最近3か月間の 合計売上高
対象とする指定 業種の売上高							A
	千円		千円		千円		千円

【記載方法】注3

税抜	税込

どちらかに○

前年同期分の指定業種の売上高（実績）

前年	年	月	年	月	年	月	前年同期3か月間の 合計売上高
対象とする指定 業種の売上高							B
	千円		千円		千円		千円

最近3か月間の企業全体の売上高（実績）

最近	年	月	年	月	年	月	最近3か月間の 合計売上高
企業全体の 売上高							C
	千円		千円		千円		千円

前年同期分の企業全体の売上高（実績）

前年	年	月	年	月	年	月	前年同期3か月間の 合計売上高
企業全体の 売上高							D
	千円		千円		千円		千円

【指定業種の売上高の企業全体の売上高に占める割合】

$$\frac{A}{C} \times 100 = E \% \quad \text{※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載}$$

【指定業種の売上高の減少率】

$$\left(\frac{B}{A} - 1 \right) \times 100 = F \% \quad \text{※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載}$$

【企業全体の売上高の減少率】

$$\left(\frac{D}{C} - 1 \right) \times 100 = G \% \quad \text{※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載}$$

申請内容は、事実に相違ありません。

年 月 日

社名・代表者名

（個人事業者は屋号・氏名）

これは計算書です。「認定申請書」を2枚用意してください

5号

業種確認・売上高計算書

5号(イ)②

■業種確認

- ・記入例をご確認のうえ記載ください。
- ・対象とする指定業種を確認してからご記入ください。
- ・事業実態と記載の業種が異なる場合、融資が受けられないことがあります。

対象とする指定業種名 (ア)	具体的な事業内容(イ)
内装工事業	壁紙工事
衣服製造販売	婦人服・子供服を製造販売している。 販売先は主に小売店。製造は外部工場に委託。
かばん小売業	店舗でかばんを販売している。

売上の大きい順に記載してください。

金融機関とりまとめ申請時は必須入力	
細分類番号(ウ)	指定業種名(エ)
0782	内装工事業
5122	繊維・衣服等卸売業
5791	かばん・袋物小売業

※日本標準産業分類の指定業種名、分類番号と必ず一致させてください。

業種名については、必ず指定業種名通りに記載してください。

□指定業種の一覧

・中小企業庁HP

https://www.chusho.meti.go.jp/ki-nyu/sefu_net_5gou.htm

□どの業種か不明な場合

・e-Stat（政府統計の総合窓口）

<https://www.estat.go.jp/classifications/terms/10>

■売上高計算書

- 注1：記入内容の挙証資料（試算表、法人概況説明書、売上台帳等）を添付してください。
- 注2：（E）、（F）、（G）がちょうど5.0%になった場合は、千円単位ではなく1円単位で記入（入力）して再計算してください。
- 注3：挙証資料の一部が税抜き（または税込）の場合は、売上高計算書への記入は、消費税の処理を統一して、1円単位で記入してください。なお、1円単位で記入する際に、千円単位で作成されている法人概況説明書の月別売上額を転記する場合は、千円未満の額に「,000円」を足してください。

挙証資料の不足・不備や計算方法に誤りがあると認められるときは、審査せずにお返しすることがあります。

この様式のA～Gは申請書のそれぞれの欄に対応しています。

（千円未満切り捨て）

最近3か月間の指定業種の売上高（実績）

最近	R7年2月	R7年3月	R7年4月	最近3か月間の合計売上高
対象とする指定業種の売上高	2,000 千円	2,100 千円	2,000 千円	A 6,100 千円

【記載方法】注3

税抜	税込
○	

どちらかに○

前年同期分の指定業種の売上高（実績）

前年	R6年2月	R6年3月	R6年4月	前年同期3か月間の合計売上高
対象とする指定業種の売上高	2,500 千円	2,400 千円	2,300 千円	B 7,200 千円

5月に申請の場合

<最近3か月での比較月例>

2月・3月・4月

または

1月・2月・3月

最近3か月間の企業全体の売上高（実績）

最近	R7年2月	R7年3月	R7年4月	最近3か月間の合計売上高
企業全体の売上高	4,000 千円	3,800 千円	3,500 千円	C 11,300 千円

前年同期分の企業全体の売上高（実績）

前年	R6年2月	R6年3月	R6年4月	前年同期3か月間の合計売上高
企業全体の売上高	5,000 千円	5,100 千円	4,800 千円	D 14,900 千円

【指定業種の売上高の企業全体の売上高に占める割合】

$$\frac{A \text{ 6,100}}{C \text{ 11,300}} \times 100 = E \text{ 53.9} \% \quad \text{※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載}$$

【指定業種の売上高の減少率】

$$\left(\frac{B \text{ 7,200}}{A \text{ 6,100}} - 1 \right) \div \frac{B \text{ 7,200}}{A \text{ 6,100}} \times 100 = F \text{ 15.2} \% \quad \text{※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載}$$

【企業全体の売上高の減少率】

$$\left(\frac{D \text{ 14,900}}{C \text{ 11,300}} - 1 \right) \div \frac{D \text{ 14,900}}{C \text{ 11,300}} \times 100 = G \text{ 24.1} \% \quad \text{※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載}$$

申請内容は、事実と相違ありません。

令和7年5月1日

社名・代表者名

（個人事業者は屋号・氏名）

●●株式会社

代表取締役 ●● ●●